



槍ヶ岳西稜 (滝谷は雨で登れず…)

2017年8月12日(土)～15日(火)

メンバー：L松野(記)・坂野

かれこれ十数年前にこのルート集を買ったときから、表紙があまりにもカッコ良すぎて、ずっと気になっていた『小槍』。(表紙は小槍を偵察中のクライマーの写真だそうですが、なぜかこの本には肝心の小槍のルートは紹介されておらず…)

その後も雑誌で何度か小槍に関する記事を見ては気になっていましたが、いずれもエキスパートによる冬季登攀で、ハードルは高くなる一方でした。ですが、とりあえず自分のできることからと思って、今回無雪期に行ってみることにしました。

【1日目】8月12日 晴れ一時雨 新穂高温泉～槍平小屋～槍ヶ岳山荘～殺生ヒュッテ

栃尾で道路工事に伴う夜間通行止めに遭い、お盆休みの混雑とも相まって、新穂高温泉の駐車場には止められず、少し離れた鍋平の有料駐車場に回されてしまいました。この日はひたすら槍ヶ岳まで登るのみ。坂野君には要所で待ってもらうことにして、それぞれマイペースで歩きました。ロープとカムがずっしり重く、体力不足の私はずいぶん遅れをとることに。やっと着いた槍ヶ岳山荘では、すでに坂野君がテント場の受付に行ってくれていましたが、なんとテント場は満杯、殺生ヒュッテに下ろされてしまいました。

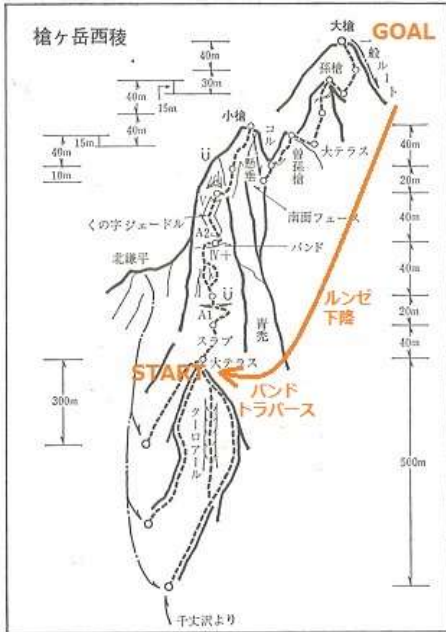


〈1日目コースタイム〉

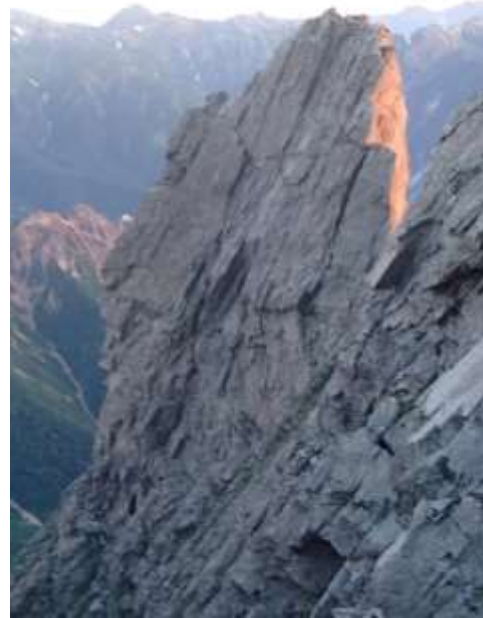
7：00 新穂高登山指導センター-11：05 槍平小屋-14：00 千丈沢乗越-15：45 槍ヶ岳山荘
-16：25 殺生ヒュッテ

【2日目】8月13日 晴れ時々霧 ～槍ヶ岳西稜登攀～

登攀装備のみ背負って殺生ヒュッテを出発、槍ヶ岳山荘まで登り返します。大槍へ登る一般ルートを進み、最初のハシゴの手前にあるルンゼを下りて小槍下の大テラスへ向かいます。事前に調べたところ、大テラスより下部は藪混じりで岩が脆く、夏は登攀対象として捉えることが少ないようだったので、それに倣いました。



△西稜ルート図（日本登山体系より）



△アプローチのルンゼから見る小槍の南面フェース

落石を起こさないようルンゼを下り、小槍と曾孫槍の間のコルへ向かう踏み跡をスルーして、さらに下降していきます。どこから西稜に這い上がればいいのか少し迷いました。



△このルンゼを下りていきます。



△下りすぎてまた登り返します。頭上は小槍。



目星をつけた外傾ぎみの狭いバンドを慎重に渡り、スラブを回り込むと西稜正面に出ました。今回は坂野君の厚意で、言い出しっぺの私が核心の「くの字ジェードル」を登ることになり、ジャンケンはせず奇数ピッチを坂野君リード、偶数ピッチを松野リードにしました。スママセン・・・。



〈1P目〉坂野リード

広いスラブを登ります。残置ハーケンが1本ありましたが、カムやナッツが入るようなクラックがほとんどなく、ランナウトするピッチでした。

〈2P目〉松野リード

出だしのワンポイントが少しだけハングしていて、登山体系ではA1となっていました。アブミを出すほどでもないかなと、そのまま行きました。ちょっとあたふたしましたがなんとかありました。



〈3P目〉坂野リード

クラックだらけの今にも取れそうな岩を見極めながら、慎重にジェードル下まで。

〈4P目〉松野リード

いよいよ「くの字ジェードル」。登山体系ではA2となっていて、出だしこそピンが遠いものの、その後はアブミ間隔でピンが連打されていました。ですがここもA2というよりは、5.7~5.8のワイドクラックといった感じだったのでアブミは出さずに行きました。登り自体は難しくないですが、濡れていたのが気を遣いました。上部のハング手前まで。



△憧れだった『くの字ジェードル』！



△くの字の屈曲部を登る坂野君。バックは千丈沢。

〈5P目〉坂野リード

頭上のハングを右から回り込み、小槍のスカイラインへ出る爽快なピッチ。小槍ピークまで。



△ハングを右に出て



△小槍ピーク！後ろはこの先の西稜



小槍のピークには、反対の曾孫槍側から登ってくるパーティーが多く、私たちも含めて4パーティーほどが小槍周辺に集まっていた。さっきまで誰とも会わずにきたので、曾孫槍側がこんなに賑わっていることに少し驚きました。

◁小槍から曾孫槍側に懸垂下降しました。
こちら側から登るとIV級くらい。

あんなに憧れていた小槍の登攀があっという間に終わってしまい、なんとなくメインイベントは終了してしまった感じでした。ですが西稜はまだ曾孫槍、孫槍、大槍と続きます。私たちの前には何パーティーもいて、ちょっと渋滞していましたが、時間的に余裕もありのんびり行きました。



〈6P目〉松野リード
曾孫槍を登ります。小槍と違ってかなりボロボロ。私たちの2つ前のパーティーが大きな落石を起こしていたので気を付けて登ります。



〈7P目〉坂野リード
孫槍を登ります。この取り付けにはピカピカのハンガーボルトがありました。岩質もよく、スラブをガイガイ登ります。途中でピッチを切りました。

〈8P目〉松野リード

孫槍の残りをピークまで。ピークにも、古いハーケンの横に綺麗なハンガーボルトがありました。



△小槍をバックに孫槍を登る坂野君。



△孫槍ピークからは 15mほど懸垂。写真は後続の4人組パーティーが狭い孫槍ピークにぎゅうぎゅう詰めになっているところです。

〈9P目〉坂野リード

最後の大槍へ登るピッチ。ルートが左へ屈曲するので、あとでロープが重くならないように支点の取り方に工夫が要ります。すぐ横に一般登山道が見えていました。



△左が槍ヶ岳山頂。登山者が見えます。



△無事山頂へ！天気にも恵まれ最高でした。このあとハシゴの下りは大渋滞。

〈2日目コースタイム〉

4：10 殺生ヒュッテ－4：40 槍ヶ岳山荘－ルンゼ下降－5：35 西稜大テラス－9：05 小槍－
13：10 槍ヶ岳山頂－13：55 槍ヶ岳山荘－14：15 殺生ヒュッテ

【3日目】8月14日 晴れ時々霧 槍ヶ岳～大キレット～北穂南稜テント場

昨夜天気予報を確認したところ、この後14日、15日と天気を持ちそうだったので、予定通り次の目的地『滝谷』に向かいました。坂野君は今年のGWにも大キレットを通っているので感慨深げにルートを見直していました。

北穂高小屋では滝谷の各ルートへのアプローチ図が貼られていたので、明日に備えて写真を撮っておきました。眺めの良いウッドテラスには、ワインやパスタなどのおしゃれな食事を楽しむ人々が溢れ、ずいぶん離れた淋しいテント場とのギャップが凄かったです。



△槍から北穂への稜線



△アプローチ図は彩色を施した素敵なスケッチ

〈3日目コースタイム〉

5：55 殺生ヒュッテ－6：40 槍ヶ岳山荘－12：40 北穂高小屋－13：00 北穂南稜テント場

【4日目】8月15日 稜線は霧雨 白出沢は曇り 新穂高で雨

北穂南稜テント場～穂高岳山荘～白出沢出合～新穂高温泉



昨夜から雨粒がテントを叩いていました・・・。

槍ヶ岳西稜では私が好きなところを登らせてもらったので、滝谷は坂野君が行きたいルート、登りたいピッチを登ることになっていたのですが、予報より早く天気が崩れてしまい、滝谷登攀は中止になってしまいました。なんだか申し訳ない気持ちで雨の中を下山することになりました。

〈4日目コースタイム〉

5：25 北穂南稜テント場－7：35 穂高岳山荘－11：10 白出沢出合－12：35 新穂高登山指導センター（－13：25 鍋平駐車場）

以上